



2003年9月24日

自由民主党

総裁 小泉 純一郎 様

精神障害者社会復帰施設の
施設整備拡充を求める中央実行委員会
委員長 新保 祐 元

精神障害者社会復帰施設の施設整備費等に係る公開質問について（ご依頼）

貴党におかれましては、わが国の精神保健福祉施策の発展充実にむけて多大なご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年12月24日に「障害者基本計画」及び「障害者プラン」が定められ、その中で、精神障害者に係る保健・医療、福祉など関連施策は「重点課題」とされ、とりわけ、約72,000人の社会的入院者については、10年のうちに退院・社会復帰をめざす総合的な推進方策が検討されることになりました。

その後、坂口力厚生労働大臣を本部長とする精神障害者福祉対策本部が設置され、本年5月15日に公表された中間報告「精神保健福祉の改革に向けた今後の対策の方向」では、「精神障害者が可能な限り地域において生活することができるよう、必要な保健医療福祉サービスの資源を確保し、適切に配分する」ことが明記され、現在、具体的検討が進められています。

また、本年7月10日に成立した「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」の国会における審議過程においても、社会福祉施策の拡充や充実等の答弁がなされてきました。

こうした状況において、精神障害者の地域生活の拠点となる社会復帰施設については、一層の整備拡充が求められていますが、先般厚生労働省から示された「平成15年度社会復帰施設施設整備費」では、都道府県等からの申請数（161件）の半分にも満たない採択状況（75件、採択率46.6%）にあります。

ここ数年、特別の事情がない限り、都道府県等から申請のあった案件すべてが採択されてきたことから、私たち精神医療・保健・福祉分野に係る関係団体では、この事態を受け入れることができず、不採択案件の全面復活を求めて、政府や国会、地方議会、マスコミ、そして国民にむけて訴えているところです。

現在、国会をめぐる様々な政治日程等が報道されておりますが、今回の不採択をめぐる状況から、精神医療・保健・福祉関係者の間では、今後の精神障害者に係る政策に対して大きな不安感を抱いています。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、下記事項にご留意いただき、4つの質問項目についてご回答を賜りたく、お願い申し上げます。

なお、ご不明な点等ございましたら、事務局までお問い合わせください。

記

1. 回答締切日

2003年10月8日（水）必着とさせていただきます、事務局までEメールにてお送りください。

(Eメールアドレス) psw@japan.email.ne.jp

大変恐縮ですが、締切日をもってご回答をいただけない場合、「回答なし」として公表させていただきますことをご承知おきください。

2. 回答字数

各質問項目とも 800字以内でご回答ください。

3. 回答内容の公開方法

原文のまま、一般報道機関へのリリースならびに実行委員会のホームページや構成団体のホームページ、会報等に掲載いたします。

4. 質問項目

- 1) 障害者基本計画や障害者プラン等で定められた精神障害者に係る各種施策（約72,000人の社会的入院者の退院・社会復帰施策等々）について、貴党としてどのようにお考えですか？
- 2) 平成15年度の精神障害者社会復帰施設の施設整備費に係る不採択問題について、貴党としてどのようにお考えですか？
- 3) ここ数年、都道府県等から申請のあった案件はすべて採択されてきましたが、当初予算枠では確保されておらず、繰越金や補正予算で対応してきた現状について、貴党としてどのようにお考えですか？
- 4) 上記の予算枠問題を含め、今後の精神障害者社会復帰施設の年次的・計画的整備について、貴党としてどのようにお考えですか？

<添付資料>

- ・「精神障害者社会復帰施設の施設整備拡充を求める中央実行委員会」設立趣意書
- ・「7.22緊急集会資料」及び「社会復帰施設の拡充を求めるアピール」
- ・関係報道記事

【問い合わせ】

精神障害者社会復帰施設の施設整備拡充を求める
中央実行委員会 事務局（担当：坪松）
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-11-4
TSKビル7F-B
日本精神保健福祉士協会内
TEL. 03-5366-3152 FAX. 03-5366-2993
E-mail: psw@japan.email.ne.jp